



# 東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2026年2月15日発行

第35号（通巻第395号）

発行者：星山 圭 編集者：組織部

## JR東日本労働組合新潟地方本部 第12回定期地方委員会



とき 2026年2月26日(木)  
13時00分より  
ところ 新潟市万代市民会館  
6階 多目的ホール

今年7月1日に組織の見直しや、労働時間の変更など一部の制度見直しを行うとしていることから、見直し実施後の乗務行路について考え方を明らかにするよう求めました。

◆ 必要な対応は行っていると考えであるとの回答を示した支社側に対して具体的な対応について質す

### 組織の見直しに伴う業務の再編について

新潟地本は1月28日に、申11号・2026年3月ダイヤ改正における乗務行路等に関する申し入れの団体交渉を行いました。

昨年12月に支社側から受けた2026年3月ダイヤ改正の乗務員運用行路表（案）について、行路内容の見直しや組み換えをはじめ、安全や働きがい、教育や技術力保持などの視点から申し入れを行っていたものです。

## 組合員・社員の意見に基づく 行路見直しは実現に至らず

申11号・2026年3月ダイヤ改正における乗務行路等に関する申し入れ団体交渉①

あるとしました。

7月1日以降の運用改訂に向けたスケジュールを質すと支社側は、3月ダイヤ改正が固まってから検討していくとした上で、改訂後の提示時期、各職場での取り組みについては検討中であるとした。

車両運用の変更の有無について質すと、今のところ、7月1日以降に車両運用の変更の考えはないとしました。

職場の名称が変わることについて質すと、今のところ、7月1日以降に車両運用の変更の考えはないとしました。

### 乗務割交番の行路順序変更について

新潟統括センター新潟を訴えました。

乗務室の運転士・車掌行路、新津乗務室の運転士行路、長岡統括センターの運転士・車掌行路について、一部の行路順序を変更した案を示して、組合案の通りとするよう求めました。

支社側は、乗務行路については、乗務割交番作成規程に基づき、総合的に勘案し作成しているとして、運用行路表（案）どおりすると回答しました。

組合側は、遠距離通勤者や単身赴任者が働きやすい行路順序となるように検討した内容であること

と指摘しました。支社側は、行路案の閲覧について、メンション等で呼び掛けるように各現場に指導したとして、社員



が行路案の閲覧が可能となった後、行路内容・順序について社員からの意見は2件の報告があったとしました。

Teamsによる周知だけで、呼びかけている管理者を見たことがないと指摘すると支社側は、大半の社員は行路表を見ていないとの認識を明らかにした上で、興味がない社員は見に来ないとの考えを示しました。

職場においては組合案に賛同する意見が多かったことから、行路順序を変更するよう繰り返し求め

### 各箇所の乗務行路について

乗務員運用行路について、組合案を作成して、よりゆとりある行路の実現をめざし要求しましたが、いずれも行路表（案）の通りとするとの回答を受けました。

（新潟統括センター 新潟乗務室 運転士行路）

日勤行路の翌日の始業時刻を約2時間半遅らせゆとりをもたせることや、拘束時間が24時間を超える泊まり行路の解消などの視点から組合案を作成し要求しました。

支社側は、拘束時間24時間はあくまでも目安であり超えることは違反ではないとしました。

その上で、途中のノーペイ時間を確保したいという意見により検討メンバー

が、所掌する新潟事業本部で行っていくとの考えを示しました。

## 新幹線統括本部との 団体交渉日程決定！

幹申4号

「乗務割交番作成規程」の遵守を求める

申し入れ

2026年2月17日(火)  
13時00分より

団体交渉に向けて  
職場からたたかいを  
作りだそう！



（新潟乗務室 車掌行路）

支社側は、元々は組合案と同様の行路だった素案が、早い明けが良いとの現場の意見により行路を組み替えた結果、出勤時刻が早くなったと明らかにしました。

支社側は、元々は組合案と同様の行路だった素案が、早い明けが良いとの現場の意見により行路を組み替えた結果、出勤時刻が早くなったと明らかにしました。

（長岡統括センター 運転士行路）

食事時間を確保する視点から組合案を作成し要求しました。

支社側は、会社としても食事時間は重要と考えているとして、課題と認識するとして、提示行路とおりとする考えを崩し

ませんでした。

